さあ、街から未来をかえよう
三井不動産グループ
MITSUI FUDOSAN GROUP

参考③

&EARTH

2026 年 9 月 4 日

報道関係者各位

三井不動産レジデンシャル株式会社

JR 津田沼駅前「津田沼 PARCO」跡地 将来的な開発までの期間を暫定活用
約 2,800 ㎡の敷地に、地域の賑わいと交流を創出する広場が誕生

居心地のよい広場と駐車・駐輪機能を一体的に整備した「ATOCHI（アトチ）」が 10 月 1 日オープン

本プロジェクトの特長

1. 人々が気軽に立ち寄れる、「津田沼 PARCO」の歴史を継承する憩いと賑わいの広場が 10 月 1 日(木)にオープン。

2. 船橋市・習志野市の 2 つの自治体や地元商店会などと連携したイベント開催を通じて、駅前の新たな交流拠点を形成。

3. 駐車場 54 台（内カーシェア 2 台）と駐輪場 205 台の整備による、駅前交通機能の強化と利便性の向上。

三井不動産レジデンシャル株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：嘉村 徹）は、千葉県船橋市・習志野市にまたがる JR 津田沼駅北口に位置する「津田沼 PARCO」跡地において、2026 年 10 月 1 日（木）より駅前広場「ATOCHI（アトチ）」をオープンいたします。本プロジェクトは、将来的な開発の本格的な工事着手までの期間を活用し、駅前の賑わい創出と地域活性化に貢献することを目的としています。

1977 年の開業から 45 年にわたり津田沼のシンボルとして親しまれた商業施設「PARCO」の記憶を受け継ぎ、約 2,800 ㎡の敷地に、人々が自由に憩い交流できる「広場」と地域の交通利便性を高める「駐車場・駐輪場」を整備します。名称には「過去を受け継ぎ、未来をはぐくむ」という想いが込められており、かつてこの地で育まれた街のカルチャーを絶やすことなく、未来へ向けて形にしていきます。

“歩く、集う、楽しむ”が交差する新空間として、キッチンカーの出店や音楽ライブ、地元商店会と連携したイベントなど、日常から特別な日まで幅広い使い方ができるスペースを提供します。地域の皆様と共に、駅前の活性化と“ウォーカブルで居心地のよい空間（歩きたいまち）”の実現を目指してまいります。

今後も、三井不動産レジデンシャルの全住宅事業のブランドコンセプトである「Life-styling × 経年優化」のもと、多様化するライフスタイルに応える商品・サービスを提供するとともに、安全・安心で快適にくらせる街づくりを推進し、持続可能な社会の実現・SDGs へ貢献してまいります。



ATOCHI 広場 完成予想 CG

１．人々が気軽に立ち寄れる、津田沼 PARCO の歴史を継承する憩いと賑わいの広場が 10 月 1 日(木)にオープン

約 1,100 ㎡の広場には、シンボリックなスター型テントや人工芝エリア、ベンチなどを整備し、行き交う人々が思い思いに過ごせる空間を創出します。また、かつてこの地にあった津田沼 PARCO の残存躯体を一部活用し、建物の歴史を継承するポケットパークを設け、長年親しまれた風景と記憶を未来へと繋ぎます。日中はキッチンカーが並び、“食べる・集まる・話す”が自然に生まれる日常の憩いの場として訪れる人を優しく迎えます。





公式 HP ビジュアル

２．船橋市・習志野市の 2 つの自治体や地元商店会などと連携したイベント開催を通じて、駅前の新たな交流拠点を形成

「ATOCHI（アトチ）」では、飲食フェスや音楽イベントなど多様な催しが開催可能です。9 月 26 日（土）・27 日（日）には地元商店会による「ふなばし市民まつり 津田沼会場」の会場のひとつとして先行利用されます。さらに、船橋市だけでなく隣接する習志野市と連携したイベントなどの地域活性化施策も予定しています。また、10 月 10 日（土）の「ATOCHI OPENING LIVE PARK」では、男子プロバスケットボールチーム「千葉ジェッツ」の試合をパブリックビューイングで放映するほか、子どもアートやチアダンスのワークショップを開催します。スポーツやアート等を通じて地域の交流を促進し、未来へ向けて新たな駅前カルチャーを育みます。





オープニングイベント「ATOCHI OPENING LIVE PARK」

３．駐車場 54 台（内カーシェア 2 台）と駐輪場 205 台の整備による、駅前交通機能の強化と利便性の向上

敷地内の約 1,700 ㎡を活用し、三井のリパークによる時間貸し駐車場 54 台、駐輪場 205 台を整備します。
習志野市からの要請でもある放置自転車対策に寄与すると共に、駅周辺における日常的な駐車・駐輪ニーズに応えることで、来街者の利便性を高め、駅前の交通機能強化に貢献します。「ATOCHI」で開催されるイベント利用時のアクセス向上という相乗効果も生み出し、周辺地域の活性化や魅力向上に繋げてまいります。

三井のリパーク

施設概要

名称	ツダヌマ エキマエ ATOCHI（アトチ）
所在地	千葉県船橋市前原西二丁目 535 外 9 筆、習志野市津田沼一丁目 2001 外 4 筆（津田沼 PARCO 跡地）
アクセス	JR 総武本線「津田沼」駅 徒歩 1 分、京成松戸線「新津田沼」駅 徒歩 3 分
敷地面積	約 2,800 ㎡（広場：約 1,100 ㎡ / 駐車場・駐輪場：約 1,700 ㎡）
主な設備	イベントエリア、人工芝エリア、ポケットパーク、駐車場（54 台）、駐輪場（205 台）
オープン日	2026 年 10 月 1 日(木)
オフィシャル HP	https://www.atochi.jp/

■位置図



■三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「＆マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

2024 年 4 月の新グループ経営理念策定時、「ＧＲＯＵＰ　MATERIALITY（重点的に取り組む課題）」として、「１．産業競争力への貢献」、「２．環境との共生」、「３．健やか・活力」、「４．安全・安心」、「５．ダイバーシティ＆インクルージョン」、「６．コンプライアンス・ガバナンス」の６つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】・「グループ長期経営方針」
https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/innovation2030/

・「グループマテリアリティ」
https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/

・「＆　EARTH for Nature」
https://www.mitsuifudosan.co.jp/business/development/earth/for-nature/

また、2025 年 4 月に、街づくりにおける環境との共生宣言「＆　EARTH for Nature」を策定し、「環境」を自然と人・地域が一体となったものと捉え、豊かな「環境」を広げ、未来の世代へつなぐ街づくりを推進しています。 本宣言における重点課題として、「緑を守り育む」「水の魅力を生かす」「生態系を豊かにする」「地域の想いをつなぐ」「自然資源を循環させる」の 5 つを定めています。本リリースの取り組みは、「＆　EARTH for Nature」における重点課題の 1 つに貢献しています。



地域の想いをつなぐ

■三井不動産レジデンシャル「カーボンニュートラルデザイン推進計画」について
https://www.mfr.co.jp/content/dam/mfrcojp/company/news/2022/0315_01.pdf

すまいの高性能・高耐久化による省エネルギーの実現や、再生可能エネルギーの導入を促進するとともに、ご入居後のくらしにおいても、楽しみながら省エネルギー行動等の環境貢献に取り組んでいただけるようなサービスの提供を推進し、すまいとくらしの両面からカーボンニュートラルの実現を目指していきます。